



Title	調光ブラックライト
Author(s)	塚田, 章
Citation	デザイン理論. 2007, 50, p. 176-177
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/53174">https://doi.org/10.18910/53174</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

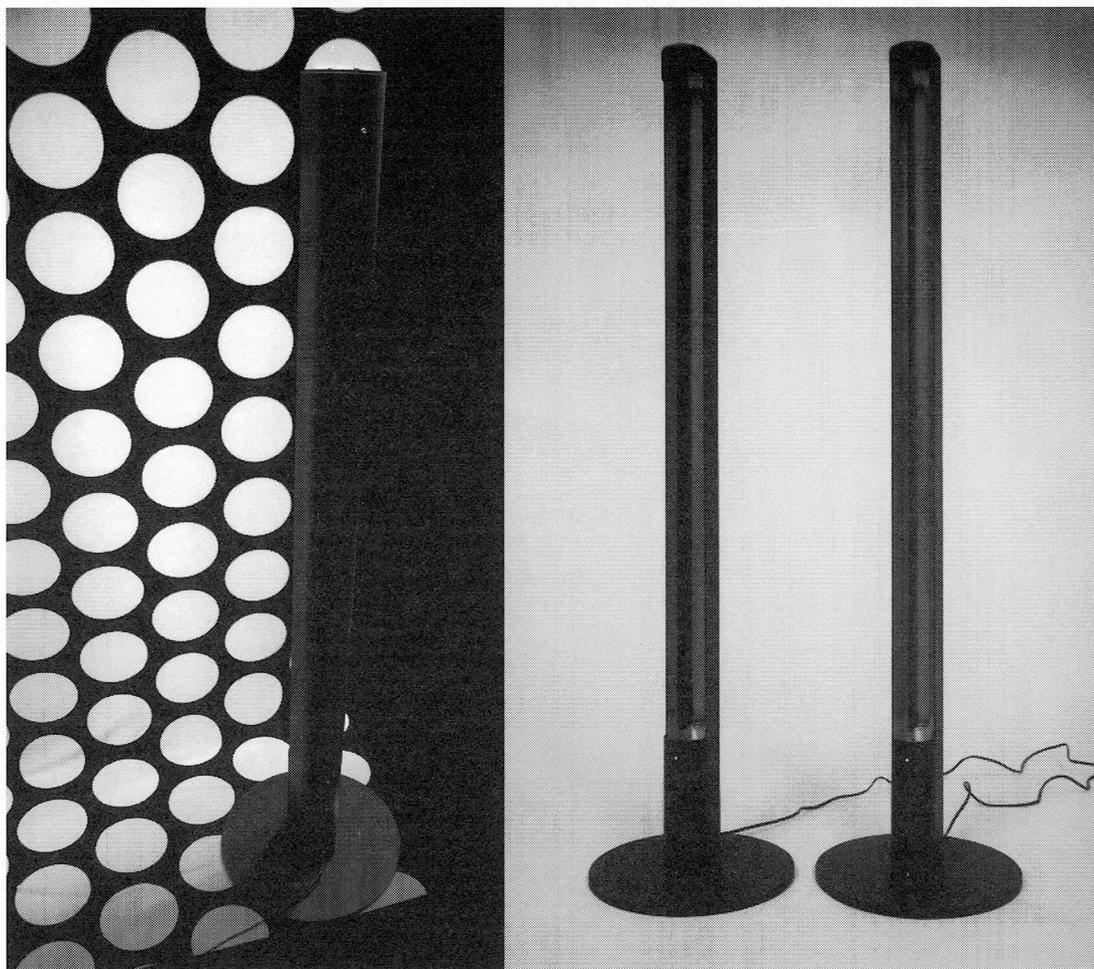
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## “調光ブラックライト”

塚田 章／京都市立芸術大学

ブラックライトによる照明効果を狙った展示は様々に為されています。ブラックライトの設備は大掛かりで、特に照度をコントロールする場合にはコンピュータ制御等で電子的に行われ、展示等に導入するとコスト的に大きな負担が強られる事となります。本制作のブラックライトは、安価な蛍光灯を用いて電子制御に依存しない調光を目指して計画されました。



調光は電子回路ではなくシンクロナスモーター（1分1回転及び2回転）を用いた遮光板によるプリミティブな構造で実現しています。シンクロナスモーターは電源周波数に同期する為に複数のライトの遮光板を同じタイミングで駆動させる事が可能となります。遮光板は1ミリ厚の軽量シートをバネで吊り上げる構造となっており、モーターに対する負荷が軽減されレスポンスの高い動作が可能となりました。

本制作は、ギャラリーでの空間演出の為にデザインしたものです。従って存在感が可能な限り無い事、鑑賞者の邪魔にならないことがポイントとなりました。光源と遮光板をデッドスペースを極力廃したコンパクトなスティック状筐体に組み込み、トランス等の重量部品をベース付近に配し転倒に対する安定性を図っています。ブラックライトによる照明効果をギャラリー等で手軽に実現する為の自動調光ブラックライトのプロトタイプとして制作されたものです。

